

研究課題名 回腸囊肛門吻合術後に発生する門脈血栓症の検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年1月から2019年11月までの期間に、当院で回腸囊肛門吻合術が行われた方。

2. 研究目的・方法

家族性大腸腺腫症や潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘術および回腸囊肛門（管）吻合は標準術式のひとつで、本術式の重要な合併症のひとつに門脈血栓症が挙げられます。門脈血栓症はときに重篤化する可能性があります。その頻度や原因、有効な治療法について一定の見解が得られていないのが現状です。今回、回腸囊肛門吻合術後に発生する門脈血栓症の頻度や臨床病理学的特徴、有効な治療法等を明らかにする目的で、家族性大腸腺腫症または潰瘍性大腸炎と診断され、大腸全摘術および回腸囊肛門吻合が施行された患者を対象に、患者背景、検査所見、手術結果、臨床経過等を後方視的に検討します。

研究期間は実施承認日～2023年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、血液画像検査所見、手術記録など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2250

消化器外科二 病院助教 服部 憲史

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 講師 中山 吾郎